



白馬村・小谷村では、「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います

発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙10307-3/電話0261-82-3100）

宮澤県議、田下建設部長の現地調査がありました

8月24日（月）、25日（火）に宮澤県議、田下建設部長の現地調査がありました。

24日には、白馬村、小谷村の村長、議会議員、建設業者との意見交換会があり、砂防事業推進に関する多くの要望や意見が交わされました。25日には、現在施工中の小谷村柵池の砂防堰堤を視察されました。柵池の砂防堰堤は、堤高が11.5m、堤長が178m、と大きな堰堤で、7年間続いた堤体工事も残りわずかになりました。



意見交換会



現地調査（柵池砂防堰堤）

新潟大学の学生さんに現場研修を行いました

9月1日（火）に、新潟大学理学部の学生さんに対して、地すべり対策の現地説明と室内研修を行いました。現地説明は、白馬村倉下地区にある地すべり地で、排水トンネルの中に入り、施設効果を実際に体験していただきました。また、室内研修では、北陽建設（株）の宮澤さんに講師をしていただき、「姫川砂防事務所管内の地形地質と巨大崩壊」について学んでいただきました。短い時間でしたが、学生さんには、貴重な経験ができたと思います。



現地説明（倉下排水トンネル）



室内研修

小谷小学校の児童に現地見学会を行いました

10月2日（金）に、小谷小学校の4年生（児童21名）を対象に、砂防施設の現地見学会と防災教育を行いました。見学会は、毎年この時期に国土交通省松本砂防事務所姫川出張所のご協力を頂いて、管内の小学校を対象に行っているのですが、今年は、新型コロナウイルスの影響で、白馬村は開催できませんでした。

見学会では、はじめに松本砂防事務所の現場である金山沢第4号砂防堰堤の見学と無人化施工機械の操作体験をしていただきました。



無人化施工機械操作体験



土砂災害模型実験

次に、県の現場であるガン沢砂防堰堤で、土砂災害の模型を使った防災学習を行い、土砂災害の種類やメカニズム、対策や避難の方法を学んでいただきました。最後に、実際に工事を行っている堰堤に触れて、その大きさを体感してもらいました。

この見学会で、砂防施設や防災に関心を持っていただけたら幸いです。
現場見学会や防災教育にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



現地見学（ガン沢砂防堰堤）

現場紹介No. 1

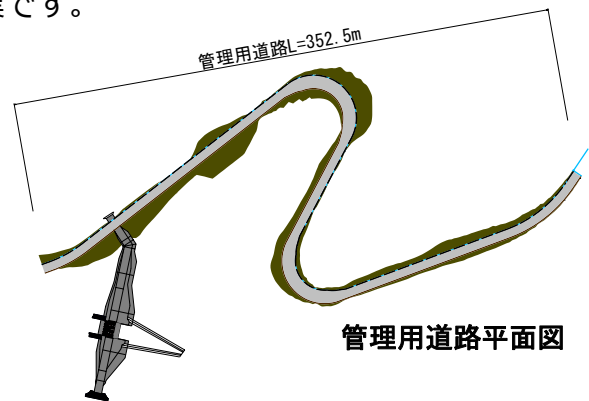
長見山沢北 砂防堰堤工事 (北安曇郡白馬村 佐野北)

■本事業について

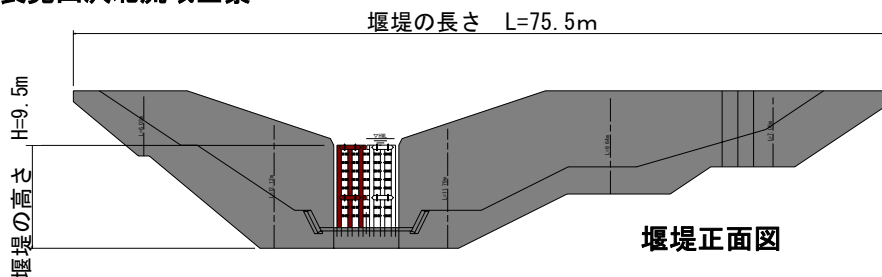
長見山沢北は、姫川の源流部の左岸側斜面にあり、大町市との境界となる小遠見山・天狗岳の尾根（仁科山地）南部の中腹（標高1210m）を源頭部とする細長い形状の流域で、東北東方向に流下する溪流です。流域の北側には鳴沢川、南側はBlue Resort白馬さのさかスキー場のゲレンデが隣接します。また、流域の下流側には、JR大糸線、国道148号等の輸送路の他、佐野の集落があり、スキー客の宿泊施設（民宿）が多く分布し、他にも姫川源流や湿原など観光施設があります。本事業は、これら地域の人々の命や暮らし財産を土砂災害から守るために行われている事業です。



長見山沢北流域全景



管理用道路平面図



堰堤正面図

■工事の施工について

本工事は、令和2年4月に着手し、9月末時点で管理用道路・本堤の掘削が完了し右岸袖部のコンクリート打設を行っています。工事完成は、令和3年度を予定しています。



管理用道路



堰堤右岸袖部



■現場代理人さんから一言

昨今の異常気象により、自然災害の発生頻度は多くなり、規模も甚大なものとなっているような気がします。今までの一般常識では考えられないような豪雨もいつ起こるかわからないこともあり、安全第一で1日でも早い工事完成を目指し工事を進めていきたいと思っております。

姫川建設株式会社 田中 諭

現場紹介No. 2

清水山 地すべり対策工事 (北安曇郡小谷村 清水山)

■本事業について

清水山は小谷村中土に位置し、昭和34年に地すべり防止区域に指定され、幾度となく地すべりが発生し、その都度対策を行っています。今回の事業は、平成25年に村道清水山線に地すべり性の変状が生じ、清水山集落の孤立化を防ぐ目的で地すべり対策を行っています。

■現在行っている工事について

現在、地すべりは概ね納まり、地下水を下げための横ボーリングや、表面水等を誘導する水路工、表面の土砂移動を抑える土留工の工事を行っています。

工事位置図



工事箇所

水路工



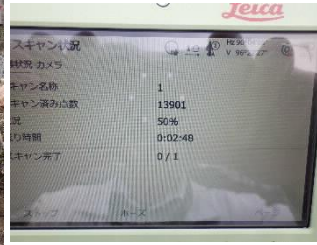
土留工



横ボーリング工



3D測量器の使用



レーザースキャナーを用いて測量を行いました。測量時間の削減や、現地地形の詳細な把握に役立ちました。今後も新しい技術を積極的に取り入れていきたいと思えます。

9月末撮影(赤枠が現在の作業箇所)

■現場代理人さんから一言

株式会社今井工務店に入社し、6年目になります。本工事場所の清水山が私が任された初めての現場でした。本工事場所は、粘土質の土であり雨が降ると沼地のようになってしまいます。また、乾くまでには時間を要します。これから台風や降雪の時期が迫っていますので、少しでも早く、品質の良い構造物が出来るよう、精一杯作業を行いたいと思います。また、『土砂崩落や、地すべりを起こしている場所には必ず水が悪さをしている』という先輩社員の言葉を大事にし、水を適正に処理できるよう仕事を行ってまいります。

今後の抱負

私たちの仕事は、人の暮らしを守ることだと思っています。そこに住んでいる人が安心して暮らせる為には、私たちの仕事が必要です。最近では、豪雨災害、地震災害が多く起きています。そういった、天災にも負けない構造物を構築することができれば、多くの方の命、生活が救えます。自分の手掛けた物で、多くの命を救えるというのは、非常に責任感のある仕事だと感じています。また、地域住民の方の『ありがとう』などの言葉を頂けるのは非常に嬉しくやがいが感じています。まだまだ未熟な部分が多い私ですが、『松澤が担当なら安心だ』といわれるような代理人目指して努力してまいります。



株式会社
今井工務店

松澤 大機